

初めて『千葉市バリアフリー観光ガイドマップ』を作成しました！

～「海・まち・里」の3つのエリアで移動ルート上のバリアフリー情報などをご紹介～

千葉市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として多くの旅行者を迎えるにあたり、高齢者の方や車いす利用の方（以下、高齢者等）に、より快適に市内観光を楽しんでいただけるよう、初めて『千葉市バリアフリー観光ガイドマップ』を作成しましたので、お知らせします。

1 ガイドマップの内容

本市がもつ「海・まち・里」3つの特性を、初めて来訪した高齢者等に楽しんでいただけるよう、3コース設定しました。また、従来の「観る・食べる」プランに加え、千葉市ならではの「体験」プランを各コースに盛り込みました。

(1) 海辺（千葉みなと）コース

千葉市の中心市街地を背景に千葉港が広がるエリア。旅客船ターミナル等複合施設ケーズハーバーから出港する“千葉港めぐり遊覧船”では間近で海を眺め、千葉ポートタワーでは空から千葉みなとエリアを一望でき、様々な海の表情を体感できるコースです。

(2) マチナカ（千葉中央）コース

商業施設やオフィスが連なる中心市街地では、千葉氏の所縁のある千葉神社や多彩な企画展を開催している千葉市美術館、プラネタリウムなど参加・体験ができる千葉市科学館などを巡り、歴史や文化・芸術と共存を感じることができるコースです。

(3) 里山（若葉・緑）コース

自然が溢れる若葉区・緑区で、イチゴやブルーベリーなどのフルーツ狩りができる農園や、四季折々の花が楽しめる泉自然公園や昭和の森、エサやり体験もある千葉市動物公園など、千葉市の自然を満喫できるコースです。



ガイドマップ表紙



海辺（千葉みなと）コース
ケーズハーバー



マチナカ（千葉中央）コース
千葉神社



里山（若葉・緑）コース
千葉市動物公園

2 ガイドマップの特徴

(1) 利用者目線のバリアフリー情報

バリアフリー調査から得られたモニターの意見・感想を踏まえ、各施設やルート上の注意点などを利用者目線から紹介。情報をもとにご自身で選択・判断しながら、市内の観光を楽しんでいただくことができます。

(2) 見やすいデザイン

障がい者団体の方々にアドバイスをいただきながら制作した本ガイドマップ。A4サイズ見開き左側ページは大きく見やすいマップ、右側ページは施設の基本情報のほかバリアフリー情報が一目でわかるピクトグラムを表示し、必要な情報を見やすく掲載しています。

(3) 市内観光をより楽しめるイメージづくりとミニコラム

海辺コースは水色を基調とした色遣いとするなど、ページを開くと各エリアの雰囲気が目に飛び込んできます。マップには周辺の見どころや千葉市をもっと知ることができる“ミニコラム”を掲載。読んでいるだけで楽しい気分が味わえます！



各エリア紹介ページ



3 配布日・配布場所

(1) 配布日

令和元年11月1日（金）

(2) 配布場所

千葉市観光情報センター（JR千葉駅・海浜幕張駅）、市内各保健福祉センター、市内各図書館・公民館、千葉都市モノレール各駅、房の駅各店（県内外8店舗）、千葉ポートアリーナ、パラスポーツ大会、イベント等での配布 など

4 媒体概要

(1) 仕様

A4判カラー 8ページ

(2) 発行部数

10,000部

(3) WEBサイト（※市WEBサイト上でガイドマップの内容を紹介）

http://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/promotion/baria_kanko.html

